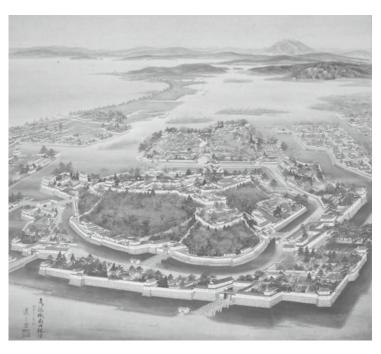
彦根城博物館だより

Hikone Castle Museum News



上

田 道三

彦根の歴史風景を描く―

彦根城廓旧観図

テーマ展

9_月 8日 ▼

10_月 5日

源氏物語

— 古典の継承と展開

の大画面に、彦根城を大手側か 和三十三年 (一九五八)、井伊 いています。 ら俯瞰した景を、実に細密に描 家の依頼で制作した作品。縦 七一センチ、横一八六センチ 彦根の画家上田道三が、昭

描き続けた画家、道三の代表作 が自ら図中に「彦根城廓旧観 湖などが描かれています。道三 といえる作品です。 されました。城や城下、古民家 古文書や古絵図などを参考に、 と記している通り、この絵は、 われて存在しない御殿や櫓、内実は本作には、当時すでに失 など、彦根の歴史風景を愚直に 江戸時代の旧景を復元して制作

2022年 10/ 11/7(月)

上田道三筆

特集展示

松居石材商店の歴史 10月 . 4_E

企 画 展

田道三 ・彦根の歴史風景を描く 10_月 8日 11_月 ...7_日

上

彦根藩井伊家の刀剣 11月 12_月

10⊟

6∃

企

画

展

展覧会 情報



示 案 内

アーマ展 展示室

源氏物語 古典の継承と展開―

続けてきました。 本文化全般にわたり多大なる影響を与え 氏物語。平安時代の成立時から好評を得 能、果ては和菓子の世界に至るまで、日 て書写され、文学のみならず、美術、芸 物語文学の最高峰と位置づけられる源

考証的なものから鑑賞的方向を打ち出す 成されています。物語の絵画化もまた、 もの、啓蒙的なものまで、膨大な蓄積が 原典成立後あまり間をおかずに始められ 註釈研究も早く平安時代末に始まり、 源氏物語 中院通茂書写 たと考えられて



要層は、長らく 源氏物語の需

せます。特に、 きな広がりをみ 江戸時代には大 れていたのが、 上層階級に限ら

季吟著「湖月抄」は、 せた立役者として知られています。 延宝元年(物語を広く流布さ

ださい。 語の享受の様子を典籍や美術工芸品を通 成立もまた、源氏物語の世界が広がり、 収める源氏箪笥、物語の各帖の名をつけ した、雅やかな王朝文化の世界を堪能く 絵画化した源氏絵、源氏絵によく見られ じて紹介します。人々が受け継ぎ、展開 定着したことの表れとも捉えられます。 た源氏香などがあります。これら用語の ることから名付けられた源氏雲、物語を 本展では、江戸時代を中心に、源氏物 源氏物語に関する言葉として、物語を

◎ スライドトーク◎

講 髙木文恵(当館学芸員 9月10日(土)14時~(30分程度)

■会 場 当館講堂

50名(先着順

展示室6

特集展示

9/8(木)~10/4(火)

松居石材商店の歴史

城下で創業し、今 石碑などの製作・ 店。墓石・石燈籠・ に続く松居石材商 江戸時代に彦根



石造釣燈籠 個人蔵

者でもありました。それらの活動を、 ル工事などの事業も手がけ、地域の発展 正期頃にはトンネ 店製作の石造品や伝来の文書・古写真を に貢献しました。また、その頃の当主は 彦根町会議員を務めるなど、地域の有力

◎スライドトーク◎

時 9月10日 (土) 14時35分~ (30分程度)

早川駿治(当館学芸員)

場 当館講堂

*関連講座を開催します。(6頁参照 50名(先着順

7日(金)~12月6日

火

はそうなんな

展示します。

彦根藩井伊家伝来の大名道具を中心に八〇点あまりを展示

ではんもの。との出会い

常設展示

新収蔵資料クローズアップ

● 井伊直政書状

は巻子に仕立て直されていて、旧彦根藩士 の方からご寄贈いただきました。この書状 考察をしていた石黒務による解説文も一緒 で、明治期に井伊家に関わる史料の収集・ のもとで活躍した井伊直政の書状を、個人 に装丁されています。 井伊氏と宛先の酒井氏とは、婚姻関係を このたび、彦根藩井伊家初代で徳川家康

たので下向するという直政 に御礼を述べ、煩いが治っ 酒井から手紙や鮭を贈ってもらったこと 士だったと考えられます。書状の内容は、 何世代にも渡って重ねてきた近しい一族同

あるから、直政から直接書 言えましょう。 親しい関係を示していると このような書状そのものが はない、と述べています。 状を賜っても怪しむことで 厚く待遇していた酒井氏で われるかもしれませんが、 す。特徴の無い内容だと思 自身の近況を伝えたもので 石黒は解説文で、井伊家が 当館展示室6にて、 をろうとうと ちつき事場 的女性一人 をないれる ちなんはちし こってき 好了好後しい うちきるんしか

一企画展

彦根の歴史風景を描 (月)

巨匠、中村大三郎に師事しました。 め、やむなく中退し京都へ戻りました。 が関東に移り消息を絶ってしまったた 通いながら絵を学びました。しかし、師 られる不染鉄(本名哲治)(一八九一~ 京都へ出て、南画風の独特の画風で知 卒業後も同校研究科に進み、京都画壇の 絵の道を諦めることはなく、昭和七年 を移した不染に同行し、同地の中学校に に彦根市に生まれました。十代前半に (一九三二)に京都絵画専門学校に入学、 九七二)の内弟子となり、奈良に拠点 田道三は、明治四十一年(一九〇八) は

専念し、古書や古絵図も参考に制作を進 周辺の歴史的な風景を題材とし、みずか 敷や街道沿いの古民家など、彦根とその 旧観図」を完成させました。昭和三十六 年(一九五〇)頃から城廓のスケッチに 根に帰郷しました。そして昭和二十五 昭和二十一年(一九四六)、道三は彦 (一九六一) 頃からは、城下の武家屋 その集大成となる大作、「彦根城廓

ての展覧会です。

「海辺の村」

昭和4年(1929)頃

ら「記録画」と呼んでその制作に打ち込 みました。

四十七年(一九七二)に彦根市功労者と りました。この活動が讃えられ、昭和 めなければならないという強い思いがあ わっていくことへの嘆きと、記録に留 には滋賀県文化賞の文化功労賞が贈られ して功労賞を、昭和五十三年(一九七八) 道三がこうした制作を続けた背景に 彦根を含めた滋賀の町が急速に変

業を一望する初め せて、官展などへの ます。彦根を愛した 日の作品も展示し 入選を重ねた若き を中心に紹介し、併 上田道三の画

滋賀県立美術館蔵

本展では、道三が描いた彦根の風景画







関連事業

展 示 室 1 2

スライドト 日 時

■参加費 10月8日(土) (30分程度)

講演会①

画家上田道三の足跡

~その生涯をひもとく~」 4 0 0 円 10月15日(土) 14時~15時30分

場いただき、お話を伺います。
*当日は上田道三のご遺族にも来

「上田道三の画業講演会② 資料代 \exists 時 〜風景画から記録画へ〜₋ 10月29日(土) 1 0 0 円

15時30分

(当館学芸員)

■定員50名(先着順、 ●対 当館講堂 ●会場当館講堂 受付13時30分~

Hikone Castle Museum News No.138

往時の井伊家が所有していた刀剣の

の全容に迫ります

企画展

井伊家の刀剣

/10 (木) / 12 (火)

示室1.2

ていました。 名物や名工の手による刀剣を多数所持し 町時代以前に制作された古刀を中心に、 ため、将軍家をはじめ、各大名家では室 武器から、武士階級を示す象徴的な道具 と、武家における刀剣は、 へと役割を大きく変化させました。その 、また主従あるいは大名間での贈答品 慶長二十年(一六一五)の大坂の陣以 大きな戦乱のない太平の世を迎える 実戦で用いる

たことも記録されています。 礼にともない彦根と江戸とを往来してい われていたものもあり、時には贈答や儀 ものもあれば、藩主個人の指料として扱 れらは拝領品など家として管理していた がけた刀剣を見出すことができます。こ ます。その中には、さまざまな名工が手 ていたことが種々の腰物帳からうかがえ 彦根藩井伊家も、数多くの刀剣を有し

その大部分も焼身となった罹災刀剣で その数が膨大であったことが分かりま 作品で占められています。 る井伊家伝来の刀身は四二○口ほどで どに遭い、現在、彦根城博物館が収蔵す す。しかしながら、これらは関東大震災 物帳の一つには約五〇〇口が確認でき 件数を正確に把握することは難しいなが など、古刀および新刀を代表する刀工の はあるものの、正恒や国宗、虎徹や忠綱によるものの、正恒や国宗、虎徹や忠綱 す。当初の姿を伝えるのは僅か六○□で による罹災や第二次世界大戦後の供出な 江戸時代末期の成立とみられる腰

す。また、腰物帳などの古文書も併せて 展示し、江戸時代における井伊家の刀剣 知られていた作品などを一挙に公開しま 至るまでの名刀や優品、名物として広く 来刀剣のうち、平安時代から江戸時代に 本展では、当館が所蔵する井伊家伝

> 此前数方人水名写 分五五段五五 埋忠刀譜(部分) 江戸時代

関連事業

スライドト 日 時

11月12日(土) 14時~(30分程度

「井伊家伝来刀剣 名刀の履歴書_ 時 10014時~15時30分 11月19日 (土)

■資料代

講演会

■参加費

※関連事業共通事項 講 会

50名(先着順、当館講堂 (当館学芸員

受付13時30分~

刀 無銘 伝左 名物 織田左文字 南北朝時代



太刀 銘 国宗(伯耆) 鎌倉時代 重要文化財

短刀 銘来源国次

(名物 源来国次)



重要文化財 太刀 銘 国宗(備前二代) 鎌倉時代

雉刀 銘 粟田口一竿子忠綱 江戸時代

公刀 銘 吉守 鎌倉時代

亀 玉 鶴

金軀

作り物控」からみる 井伊直忠と能道具

井伊家十五代直忠(号琴堂、一八八一~彦根城博物館が所蔵する琴堂文庫は、 きを記した型付をはじめとする能楽関係 堂文庫には、謡本の他、伝書、 する能道具のほとんどは、直忠の収集に の修養に励むだけでなく、大正十二年 道具について記したものも含まれていま 資料が多数あり、その中には作り物と小 よるものです。この直忠の蔵書である琴 てその充実に努めました。当館が所蔵 た後には、これを収集し、新たに作らせ 保管していた井伊家伝来の能道具を失っ (一九二三)の関東大震災において本邸で みました。東京の本邸に舞台を構えて能 一九四六)に師事して生涯を能に打ち込 の能役者である梅若万三郎(一八六八~ 九四七)の蔵書です。直忠は、観世流 演者の動

もしくはいずれかの図を彩色で描き、寸 九十三曲については、 名を記し、作り物の有無、 です。「高砂」を筆頭に百九十七の演目 法や細部の作りに関する注釈等を加えま に出す位置、 その一つが「作り物控」(二冊、 使用する小道具をまとめ、 作り物と小道具、 種類、 図 一 舞台

戸」「大瓶猩々」「水無月祓」等、観世と「大瓶猩々」「水無月祓」等、観世が収された演目には、「寝覚」「久世 具が見え、これらは、十五世観世大夫元 あると分かります。 それ以降の観世流の作り物・小道具図で ようになったものです。つまり、本書は (一七六五~七四)」 期以降に用いられる 付等に大幅な改訂を行った、「明和改正 章(一七二二~一七七四)が謡の詞章や節 るように、通常とは異なる作り物や小道 長い紅地の紐)を巻いた特殊な傘を載せ て、一般的には使用しない灯籠と紅緞(細 流のみの上演曲が複数あります。また、 蟻通」において、昔用いた小道具とし

された可能性が高いと考えられます。 りません。しかし、作り物と小道具の色 れることから、直忠の指示によって作成 直忠による指示書きの痕跡が複数確認さ た色見本が挟み込まれており、本紙にも が各図に使用する色について注記を加え に関する直忠自筆の覚書(図二)と、直忠 本書には年記も筆者に関する記述もあ

されています。葉書に記された作り物図 は「作り物控」の図と同じ形のものです である小柴垣の寸法と図を記した葉書 出に梅若と記された、「野宮」の作り物 蔵)にも複数確認できます。「絵馬」や 書や関連資料は、井伊家近代文書(当館 「鳥追舟」の作り物の寸法図等の他、差 (昭和十四年〔一九三九〕十月五日)も残 作り物や小道具に関する直忠自筆の覚

> ないかと考えられます。 物控」や覚書の情報が参照されたのでは 感懐を』)、その作成にあたっては「作り 工を抱えていたといい(井伊正弘『我が 立つ際に使用する作り物を作る専門の大 郎から得た情報が反映されているのかも んが、あるいは本書には、師である万三 この一例だけで判断することは出来ませ しれません。また、直忠は自分が舞台に

対する関心の高さを示すものと言えるで だけに留まらない、直忠の能道具全般に り物・小道具に関する資料は、 における「作り物控」をはじめとする作 このように琴堂文庫や井伊家近代文書 (茨木恵美) 面と装束

ださい。

ら、ゆったりとお茶とお菓子をお楽しみく ライトアップされた庭園と夜空を眺めなが

日時



作り物控



直忠直筆の覚書

もあって、大変ご好評をいただいておりま す。今年度は秋に4日間開催します。是非 す。お殿様の気分を味わえる特別な機会と 元した木造棟で、夜間の茶席を設けていま 当館では昨年度から、藩主の住まいを復

秋の夜にどうぞ一服

秋声の茶席

10月8日(土)・9日(日)・15日(土)・ ①18時~18時30分 29日(土) ② 19 時~ 19時30分

会場 当館木造棟

*各回30分制

料金 一服500円

■定員 各回8名 (抹茶・季節の生菓子)

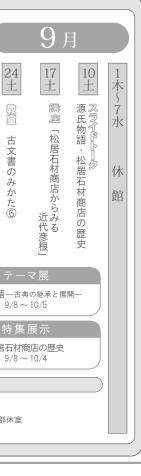
■申込方法

事前予約制。各開催日の前日17時までに



※展示室はご覧い ただけません。 TEI 0749(22 お電話にてお申 (定員に達し次第) 込みください。 6 1 0 0

ス ケジ ュ



わくわく体験スクール 松居石材商店の歴史 9/8 ~ 10/4

会場

当館講堂、木造棟

4~6年生:10時~12時

1~3年生:13時30分~15時30分

日時 います。

10月2日(日)

■参加費 500円

外海和子先生(表千家茶道講師)

■申込期間

9月1日(木)

※必着

~ 15 日

+

②彦根市電子申請サービスから申込み

館に持参もしくは郵送。

^{10/}5·7 展示替

■定員 1~3年生、4~6年生:各15名

(応募者多数の場合は抽選)

(保険料・資料・お茶・お菓子代)

対象

彦根市、米原市、愛荘町、甲良町

座

講演

会●

2 日

-彦根の歴史風景を描く-

 $10/8 \sim 11/7$

"ほんもの"との出会い

29

間し 秋靑のを『鬱靄会「上田道三の画業」

9日

個

秋声の茶席 秋声の茶席

付し、秋声の茶席一般調会「画家上田道三の足跡」

8 士

個し

スライドトーク

上田道三

常設展示

11/8.9

展示替により 一部休室

業を手がけていく同店と近代彦根の様 代以降、その技術を活かして幅広く事

子を紹介します。

②12月3日(土) 14時~15時30分 講座 私の研究最前線

一殿様の鷹狩りを支えた人たち」

鷹狩りには、 鷹の飼育、鷹の餌の調達、 竹内光久 (当館学芸員)

3 士

「殿様の鷹狩りを支えた人たち」 鬱塵 私の研究最前線

水

31 土

休

館

19 土

「井伊家伝来刀剣 名刀の履歴書」| |鬱璃会

彦根藩井伊家の刀剣

 $11/10 \sim 12/6$

12 土

スライドトーク

彦根藩井伊家の刀剣

①9月17日(土) 14時~15時30分 ■日時・演題・講師・内容 特集展示「松居石材商店の歴史」関連講座 松居石材商店からみる近代彦根」 城下で創業した石工職人の店です。近 松居石材商店は、江戸時代に彦根の 早川駿治(当館学芸員)

定員 ■会場 各 50 名

各100円 (但し、彦根市

当日受付 内在住の中学生以下は無料

りを支えた、彼らの具 体的な役割を紹介しま 藩井伊家における鷹狩 した。本講では、彦根 の人々が関わっていま 鷹場の管理など、

多く 当館講堂

休館のお知らせ▲

おかけしますがよろしくお願いいたします。 館内の環境整備のため休館いたします。ご迷惑を 【休館期間】9月1日 (木) ~7日 (水) ~31日 土丞

「古文書のみかた」は事前申込制です。

(先着順、 受付13時30分~

理な、どこい。 のホームページ、ツイッター等でご 拡大の状況により、中止となる場合が あります。最新の情報は、彦根市や当 あります。最新の情報は、彦根市や当



彦根城博物館

〒522-0061

滋賀県彦根市金亀町1番1号 TEL 0749(22)6100 FAX 0749(22)6520 https://hikone-castle-museum.jp/



び、昔の藩主の住まいでお茶の体験を行

■申込方法

①各小学校に配布するチラシに印刷し

①②いずれかで申込み。

た申込用紙に必要事項を記入し、博物

る小学生

多賀町、豊郷町に在住もしくは在学す

日本の伝統文化である茶道について学

◎ わくわく体験スクール

「茶道を楽しもう」◎

募集・催し